

「応援隊ネットワーク」登録申請書

HP掲載用

団体・企業等名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会				
担当者名	三原 和敏		所属・役職名	普及第一部 学習支援一課	
連絡先	所在地	〒605-0074	京都府京都市東山区祇園町南側551		
	TEL	075-757-8672	FAX	075-532-1110	
	E-mail	gakushushien1@kanken.or.jp			
	HPアドレス	https://www.kanken.or.jp/			
団体等の紹介・特色	<p>当協会は、内閣府から認定を受けた公益財団法人です。「日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献します」をミッションに掲げ、公益事業活動を行っております。</p> <p>その一環として、コミュニティ・スクールにおける活動や、地域学校協働活動への伴走支援活動に取り組んでおります。</p> <p>具体的には、放課後や土曜日等での学習教材・プログラム（無償）の提供を通じた、地域・学校協働型の学びの場づくりや、持続可能な運営の仕組みづくり等のサポートを行っております。</p> <p>2021年度より、「全国コミュニティ・スクール連絡協議会」の賛助会員にもなっております。</p> <p>「日本漢字能力検定」（漢検）のみならず、論理的な文章読解・表現力（文章コミュニケーション力）を測り、育む「文章読解・作成能力検定」（文章検）も実施しております。</p>				

★応援隊事業の内容

支援形態	出前授業	見学/校外学習	資料提供	その他（無償学習教材・プログラムの提供）			
メニュー	すべての世代で取り組むことができる、日本語・漢字をテーマにした学習教材・プログラム						
	備考	学習教材・プログラムの活用サポートも行っております。お気軽にお問い合わせください。					
その他 特記事項	対応教科等	国語科					
	テーマ	安全・防災	金融・経済	国際理解	福祉・医療・介護	伝統・文化・芸術	野外体験
		環境教育	食育	職業教育・キャリア教育	情報教育・プログラミング	理科実験	スポーツ
		生活習慣	マナー	ものづくり	情報モラル・リテラシー	外国語	地域理解
		その他	言語リテラシー（国語・日本語）				
	必要経費（謝金は除く）	不要	要	※学習アプリ『漢検スタート』の1～4級は、有料になります			
	旅費（講師・スタッフ等）	不要	要				
	土曜日等の活動	可	不可	応相談			
	対象 (学年の限定等があれば)	幼稚園・認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
対象地域		北西部	五條・北部吉野	北東部	南西部	南東部	

★今までの学校との事業実績

実施時期	実施校	実施内容

協会公益活動のご紹介

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

0. 目次

- 1. 当協会のご紹介（一部） … 3
- 2. 伴走活動のご紹介 … 4 ~ 9
- 3. お問い合わせ先 … 10

※伴走活動とは

当協会が持つ無償コンテンツや、制度等を提供し、学習活動の充実や仕組みづくりを支援する活動を指します。

1. 当協会のご紹介(一部)

日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献します

普及啓発・
教育支援活動

- ・今年の漢字®
- ・漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）
- ・TEAChannel（ティーチャンネル）
～言語活動に取り組む先生のためのサイト～
(<https://teachannel.kanken.or.jp/>)

調査・
研究活動

- ・漢字文化研究所
- ・京都大学×漢検 研究プロジェクト
└ ライフサイクルと漢字神経ネットワークの学際研究
└ 人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究
- ・漢字・日本語（国語）教育研究への助成

日本語能力
育成活動

- ・日本漢字能力検定 主対象：日本語を母語とする児童・生徒、日本語を第2言語とする児童・生徒
- ・文章読解・作成能力検定 主対象：日本語を母語とする児童～社会人
- ・BJTビジネス日本語能力テスト 主対象：高度外国人材（国内／海外）
- ・論理的文章カトレーニング for Business
主対象：官公庁・企業（新人研修～管理職研修、学び直し研修）

2. 伴走活動のご紹介

● 指導ツールや学習教材の提供

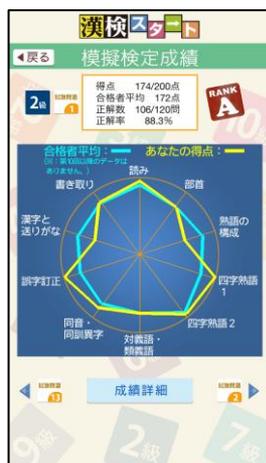
■ デジタル媒体（一部） [iOS 及び Android対応]

『漢検スタート』

一部
無償

『漢検とニュース』

無償



- ・ 10級から5級（小学校で扱う教育漢字1026字）まで、すべての問題（ドリルモード）と模擬検定1回分を無料で提供しているデジタル教材
 - ・ レーダーチャートで、得意分野と苦手分野を把握でき、次の学習に生かせる仕様
 - ・ 受検級を決める際に便利な実力診断問題付き
- ※ 4級から1級の問題は、有料です。
（販売元：イマジニア株式会社）

- ・ 京都大学と共同して制作したデジタル教材
 - ・ 読売新聞オンラインの記事を素材として、自動作問により漢字の読み問題・書き問題を出題
 - ・ ニュース記事に日常的に触れる機会を持ちたい中学生の利用に最適
 - ・ ニュース記事を通して手軽にかつ継続して漢字学習ができ、時事問題にも詳しくなれる教材
- ※ 利用には、Googleアカウントが必要です。

2. 伴走活動のご紹介

●指導ツールや学習教材の提供

読解力育成プリント

無償

文章作成力育成プリント

無償

文章検

文章検4級②
帯グラフィの読み取り

ある中学校は、国語の時間に10点満点の小テストを行っています。次の図は、二年生の生徒全員を対象として、この小テスト10分の平均点と、毎回小テストのための勉強をのぞいて行っているかを調べ、その結果をまとめて示したものです。これを見て、後の問い(問1・問2)に答えなさい。

問1 図から読み取れることとして正しいものを、ア～エのうちから二つ選びなさい。(10点)

ア 次の得点層でも、勉強時間が31~45分という人が最も多い。
イ 高得点を取るためには、46分以上の勉強時間が必要である。
ウ 低得点層で勉強時間が15分以下という人は、低得点層全体の5割を占めている。
エ 中間得点層で勉強時間が31~45分の人と、46~60分の人はいずれもおおよそ30人である。

小テストの平均点別に見た勉強時間の割合

平均点層	15分以下	16~30分	31~45分	46~60分
70~100点 (高得点層)	10%	10%	20%	60%
50~69点 (中間得点層)	10%	20%	30%	40%
0~49点 (低得点層)	30%	40%	20%	10%

年 組 番 氏名

20

問2

イ 高得点層で勉強時間が46分以上の人と、中間得点層で勉強時間が31~45分の人を比べると、前者の方が勉強時間が長い人が多くなる。

ウ 低得点層で勉強時間が15分以下という人は、低得点層全体の5割を占めている。

エ 中間得点層で勉強時間が31~45分の人と、46~60分の人はいずれもおおよそ30人である。

文章検

文章検4級②
チャレンジ問題

飲み物などの自動販売機の近くには「ゴミ箱がある方がいい」という意見と「ゴミ箱はない方がいい」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。次の条件を守ること。

条件1 意見文は、次の順番で二つの段落に分けて書くこと。
第1段落 出来事・体験・知識を述べる。
「飲み物などの自動販売機近くのゴミ箱」について、あなたの意見を支える出来事・体験・知識を述べる。
第2段落 意見を述べる。
飲み物などの自動販売機の近くに「ゴミ箱がある方がいい」か「ゴミ箱はない方がいい」のどちらか、意見を明確に述べる。

条件2 1行25字のマス目に縦書きで、必ず10行以上、16行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭に来たときは、前行末欄内または欄外にうつってよい。

【注】行数が不足した場合、または行数を越えた場合は採点の対象となりません。

年 組 番 氏名

60

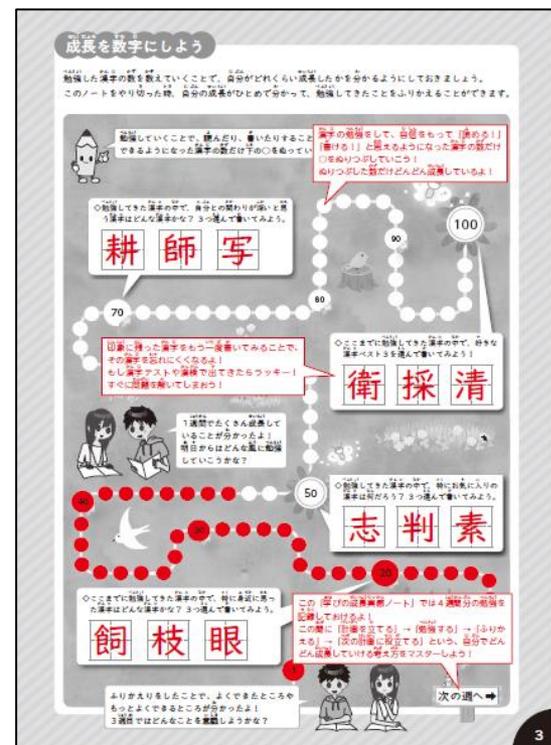
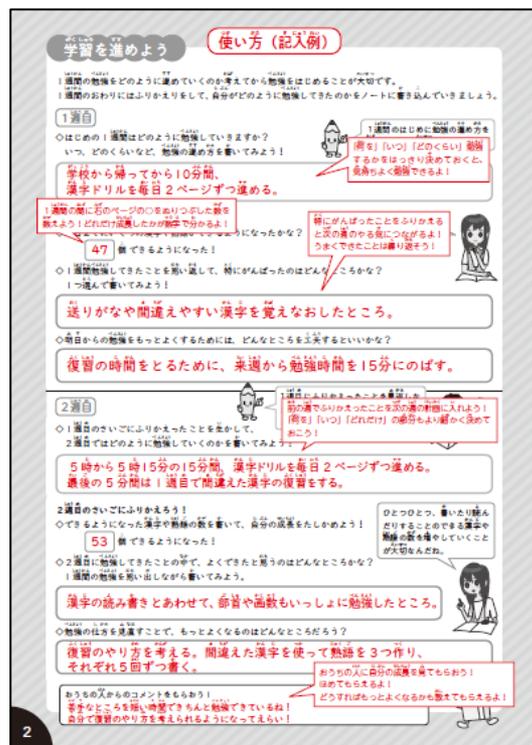
- 文章検の問題をもとに、作成されたコピーフリーのプリント
- 文章や図表を読み解く問題や意見文を論理的に作成する問題を通じて、論理的文章読解力・作成力をトレーニングすることが可能

2. 伴走活動のご紹介

●指導ツールや学習教材の提供

『学びの成長実感ノート』（制作・監修：東京学芸大学 森本 康彦 教授）

無償



- ・漢字検定に向けた学習を通じて得た、気づきやできるようになったことなどを記録し、振り返り、次の学びに向かうことで「主体性」の醸成を目指した教材
- ・「キャリアパスポート」にも接続可能な教材

2. 伴走活動のご紹介

●指導ツールや学習教材の提供

リアル脱出ゲーム×漢字検定
『不思議な漢字洞窟からの脱出』

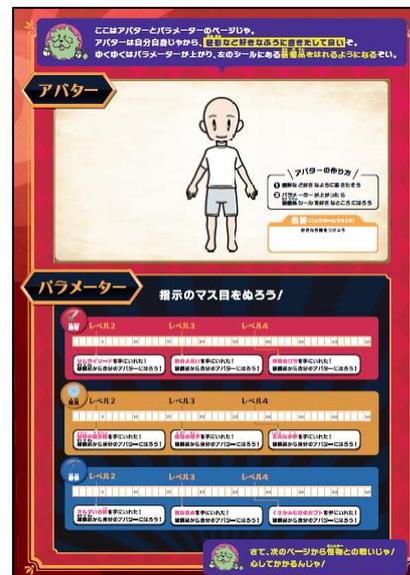
無償



- ・子どもたちの漢字能力を伸ばすことはもちろん、「仲間と協働する力・課題を解決する力・情報を分析する力」も育むことができる教材
- ・国語の授業でも総合学習の授業でも実施できるよう学習指導要領に沿って教材設計
- ・文部科学省「学校と地域でつくる学びの未来」の教育プログラムにも掲載

リアル脱出ゲーム×漢字検定
『漢字王国と僕と私の不思議な15日間』
(監修：横浜国立大学 石田 喜美 准教授)

無償



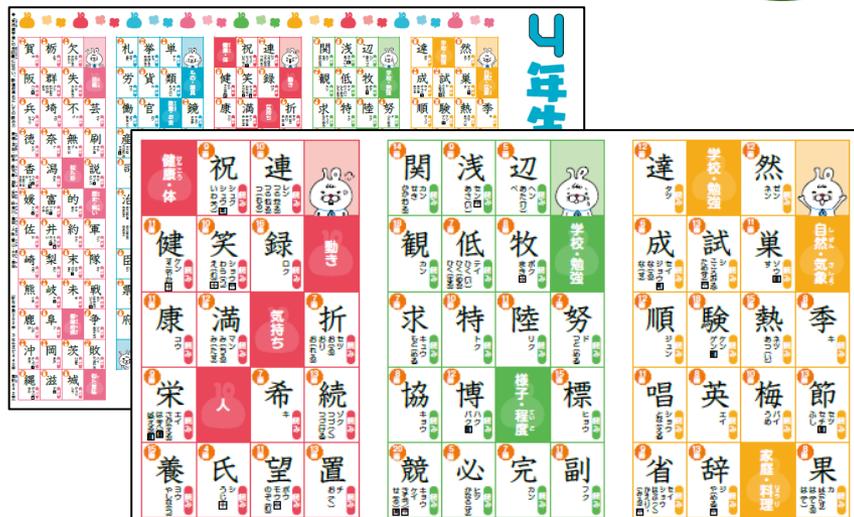
- ・児童・生徒が「主体的・対話的で深い学び」を身につけるため、漢字のさまざまな「学び方」に触れることで、自身のラーニングスタイルを知り、新たな「学び方」を見つけることができる教材
- ・「どの問題を、どのような順番で、どのように解くのか」、「その結果、どうだったのか」など、自分自身の学びを見通し、振り返る教材設計

2. 伴走活動のご紹介

● 指導ツールや学習教材の提供

『いちまる 学年配当漢字ポスター』

無償



『今、あなたに贈りたい漢字コンテスト』

無償



- ・ 小学校の各学年配当漢字をテーマ別に一覧にまとめた学習教材
- ・ 低学年版・中学年版・高学年版の3種類あるため、学年進行に合わせた学習だけでなく、個に応じた学習にも活用可能
- ・ 漢検協会オリジナルキャラクター「いちまる」と一緒に、漢字の読みや画数を楽しく学ぶことができる

- ・ 贈りたい相手を選び、贈る漢字一字とメッセージ（120字以内）を書いて応募するコンテスト
- ・ 自分自身や周囲の人々を見つめ直し、自分の素直な気持ちと向き合うことで、人間性を育むことにもつながる
- ・ 小学校道徳教科書『どうとく3 きみが いちばん ひかるとき』（光村図書出版）の單元としても採用

学習教材・プログラムのご提供だけでなく、
活用サポートも行っております。

お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

TEL : 075-757-8672

E-mail : gakushushien1@kanken.or.jp